

令和6年8月26日

茨木市立小学校
保護者のみなさまへ

茨木市教育委員会

学校給食用牛乳の容器変更について（お知らせ）

平素は、本市小学校給食の実施にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

標記につきまして、本市では、現在、学校給食で使用している牛乳は、使い捨てプラスチックストローを使用していますが、環境への観点から、令和6年度2学期より、給食用牛乳容器はストローレス対応牛乳パックとなります。

ストローレス飲用は、環境対策にとって教育的な観点からも非常に有意義な取り組みである一方で、開封や飲用にコツが必要であり、また、乳アレルギーのある児童への対策等、課題もあると認識しており、実際に日々の給食で、児童がストローレス飲用に慣れていく必要があると考えております。

つきましては、令和6年度2学期から順次、ストローレスの飲用方法へ移行いたします。

児童のみなさま並びに保護者のみなさまには、ご理解いただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

学務課給食係

連絡先 072 - 620 - 1681

学校給食用牛乳パックをストローレス対応パックに変更します！

市立学校の学校給食用牛乳は、これまで使い捨てプラスチックストローを使用していましたが、令和6年度2学期より、本市のSDGsの取組の一環として、ストローを使わずに牛乳を飲むことができる（ストローレス対応パック）に変更します。

○概要

SDGs(持続可能な開発目標)の観点から全国的にストローレス対応パックの導入が進められています。本市におきましても、牛乳の納入業者である協同乳業と協議・調整を行い、この度、環境配慮に対する取り組みの推進として、ストローレス対応パックへの容器変更が決定されました。牛乳パックからの直接飲用を開始し、プラスチックストローは順次廃止してまいります。

○ストローレス化の効果

プラスチックストロー年間約 329 万本(約 98.7 kg)※削減

※[ストロー 1 本 (0.3g) × 16,700 本 × 197 回] (年間の最大推定値)

CO₂ 排出量 約 2.7t- CO₂※削減

※ [ストローの量 (0.987 t) × 2.76]

※ストロー焼却で排出される CO₂ の量

※地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算出

※ t- CO₂ [二酸化炭素 1 トンを意味する単位]

児童の環境意識向上

児童がプラスチックごみの減量を身近に体験することにより、環境に対する意識向上を図ります。

○開始時期

令和6年度2学期から

○使用方法



素材提供: 日本酪農協同株式会社